

# ボランティアと協働する祭りの継承 京都府南丹市美山町鶴ヶ丘地区の 「上げ松」の事例

佛教大学社会学部大谷ゼミ美山班  
○種村 光太郎(Kotaro Tanemura)  
大谷 知也 (Tomoya Otani)  
一口 皓平(Kohei Imoarai)  
金谷 宙良 (Sora Kanatani)  
京森 貴哉 (Atuki Kyomori)  
(佛教大学社会学部現代社会学科)

# 目次

1. 研究目的
2. 先行研究
3. 美山町について
4. 上げ松について
5. 調査一覧と結果
6. 考察
7. 政策提言
8. 終わりに
9. 参考文献



# 1. 研究目的

他団体との連携によって、  
住民ネットワークの活性化の可能性

未来

ボランティアと協働し、  
住民ネットワークの活性化

現在

住民ネットワークが希薄  
祭りの実施が困難

# 今回の発表で用いる ソーシャルキャピタル（SC）の定義

→パットナム（2001）

**「信頼・規範・ネットワークなどの社会的仕組み  
の特徴」**

## 2. 先行研究

### ◆稲葉陽二（2016）

祭とソーシャルキャピタルの関係性について「**祭はまさに、結束型、橋渡し型、リンキングなソーシャルキャピタルの総合醸成装置**ということになる。」

と述べている。

## 2. 先行研究

### ◆ 稲葉陽二（2016）

- **橋渡し型SC**

「バックグラウンドが異なる者同士のSC」

- **結束型SC**

「同じバックグラウンドをもつ者同士のSC」

- リンキングなSC

橋渡し型のSCのうち「ある種の上下関係を結びつけるもの」

## 2. 先行研究

### ◆樋口博美（2014）

ボランティアにとって大切なことについて、「町内が主体の祭りであるという『祭の「主旨」を理解してもらうこと』が、“運営”組織・集団にとって重要なことなのである」と述べている。

### ◆浅野英一（2013）

ボランティア活動について「協働体験から生まれる一体感や新たなネットワーク作りは健全な市民社会を築く力となる」と述べている。

## 先行研究まとめ

祭りの主旨を理解し、  
地域外のボランティアが地域に行う活動



- ・ **地域住民、活動する地域外からのボランティア  
双方にメリット**
- ・ **地域内のネットワークを強固にし、ソーシャルキャピタル  
の醸成及び、祭りの継承、存続に有意義**



### 3. 美山町について

- 5つの地区（知井、平屋、宮島、鶴ヶ岡、大野）から構成され、町の96%は森林で覆われており、田園風景・かやぶきの民家などの日本の原風景が色濃く残っている。



### 3. 美山町について

- 道の駅「ふらっと美山」  
（平屋）での特産品販売
- 地域出資型店舗の「タナセン」  
（鶴ヶ岡）の設置

など・・・



**地域活性化の取り組みを幅広く実行している**

## 美山町の人口について

美山町の2019年現在の総人口は3,730人、  
殿区の2019年現在の総人口は68人。

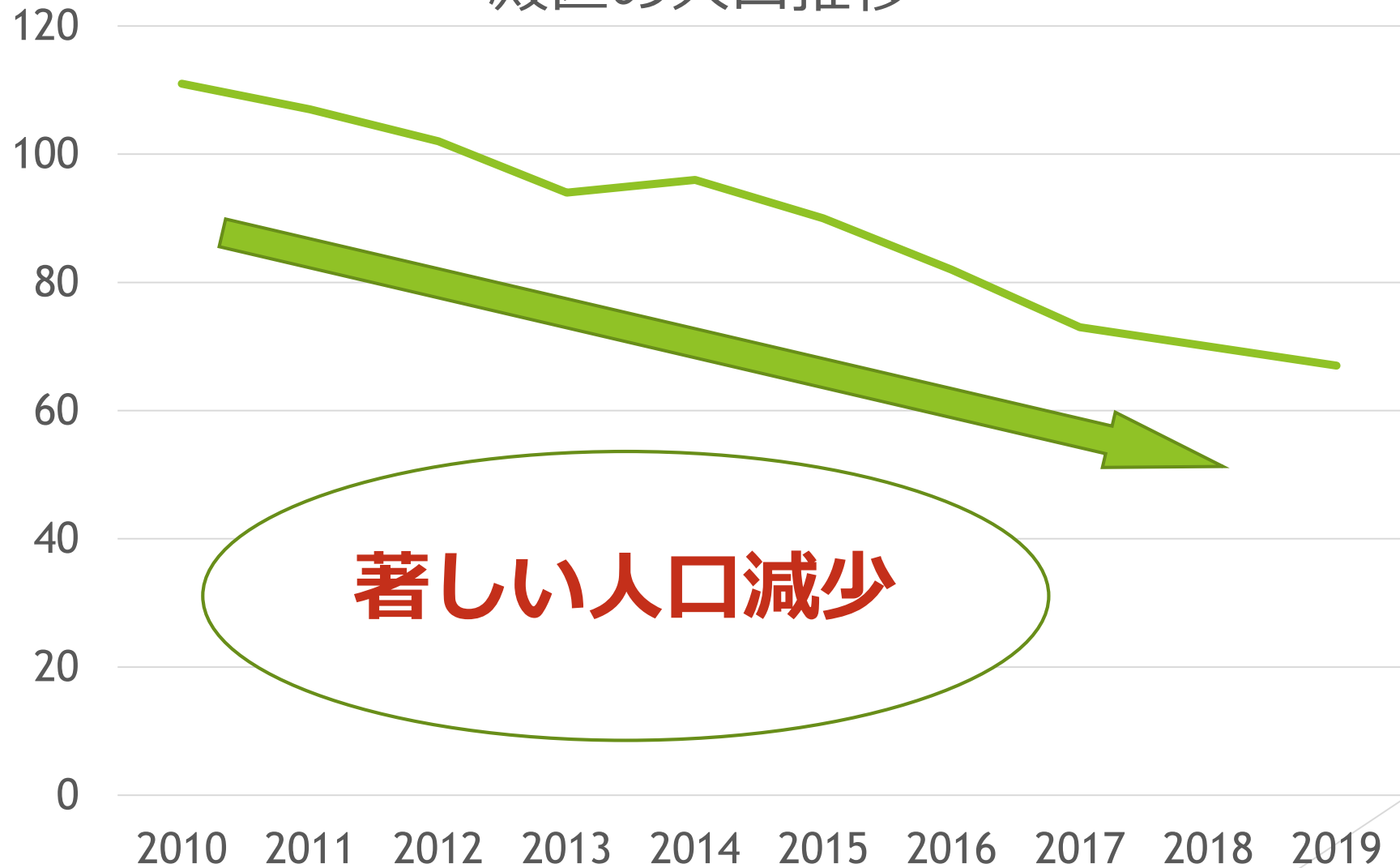
2019年現在の美山町の高齢化率は46.64%、  
殿区の高齢化率は44.93%



全国平均は28.1%

全国平均と比較して高い傾向

## 殿区の人口推移



## 4. 上げ松について

- ▶ 上げ松（柱松）は主に西日本に分布
- ▶ 美山町の場合は若狭街道に分布する柱松の部類に含まれる
- ▶ 南丹市美山町鶴ヶ丘地区、知井地区の中の4カ所で伝承されている火祭り
- ▶ 毎年8月24日の20時ごろから30分間ほど開催



## 4. 上げ松について

- 高さ20m以上の灯籠（トロ木）
- 松の葉などの燃えやすい葉を入れ、火受けに松明に付いた火を放ち点火

以上が愛宕権現への火伏せと豊作を願った献灯となる



火受け  
(モジ)

トロ木


## 5.調査一覧

- ▶ ①鶴ヶ岡振興会会長下田敏晴さんへインタビュー  
(2019年7月12日)
- ▶ ②元美山観光協会会長神田和行さんへインタビュー  
(同年8月23日)
- ▶ ③上げ松の準備運営に参加している方へ  
インタビューと参与観察  
(同年8月24～25日)





## 下田さん、神田さんへのインタビュー



上げ松を継承するためにモジ製作の簡素化や  
空き家を整備して定住化を図っている

一方で定住が進まず、空き家が余っている

地域の高齢化で人口が減少し、  
上げ松の担い手不足に悩んでいる



## 下田さん、神田さんへのインタビュー



現状は、神事を世俗化する事への  
葛藤もありつつも開催日の変更や  
他地域の人も上げ松に参加してもらおうつもり

# 地域住民へのインタビュー

日程の変更、他地域の人への参加には賛成

上げ松の開催の度に、地域外で働く地域住民が帰ってきてほしい

地域外の若者が美山を訪れ高齢者には出来ない事をボランティアなどの形で受け持っていて欲しい

## 6. 考察

### ◆ 上げ松に求めること

→ **結束型SC、橋渡し型SC**としての機能

### ◆ 地域が求めていること

→ **高齢者にはできないボランティア、空き家の活用**



地域ネットワークを強固にするために、  
**ボランティア**を用いて**地域内外**をつなぐ  
SCを醸成する必要性





## ◆政策提言◆

### ボランティア・ツーリズムによる地域活性化

- ▶ ネットワークの活性化に向けて

## 7. 政策提言

### ▶ ボランティア・ツーリズム(VT)

➡ 「**ボランティア活動が旅程に含まれる旅行**」 依田 (2011)

### ◆理由

#### ▶ 参加動機は利己的・利他的心理

#### ▶ 参加者間、地域とのネットワーク形成の可能性

→ 主体的な地域活動の参加促進

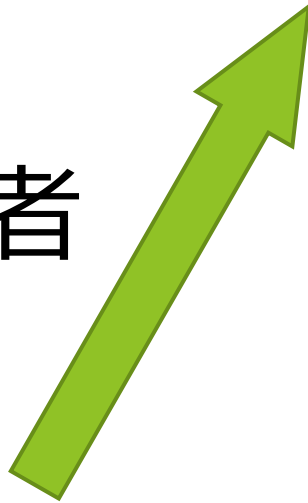
→ 地域との継続的な協働が生まれる

# VTの仕組み

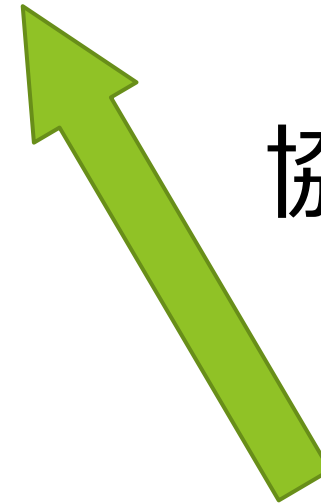


目標

協働者



協働者



労力・知識提供



参加機会・宿舎提供

地域  
旅行代理店  
NPO NGO

観光客



# ボランティアアツリズムの実践例 (東日本大震災の事例)

## 活動内容

- ・ 乗船体験
  - ・ 夏祭りの手伝い
  - ・ 酒醸造の体験
- など・・・

JTBが企画

1年間を通じた  
地域の需要創出

震災復興



## ◆美山でのVTのしくみ

- ▶ 振興会と旅行代理店、NPO、NGOなどが連携
- ▶ 季節ごとの旅行ツアーを設け**観光客**を募る  
(内容：上松の準備運営の手伝い、雪かき など・・・)
- ▶ **有料**で空き家を宿泊場所として提供
- ▶ 参加者は**事前研修**として地域の現状の説明、**ボランティア**に求められる役割、**上げ松の意味**を理解してもらい、**ボランティア・観光を実施**



## ◆問題点

どのようにVTに継続性を持たせるのか

## ▶解決策

→ツアー終了後も地域と参加者が

つながる仕組みづくりが重要

依田（2013）より

## ◆VT継続への取り組み

- ▶美山町、または振興会は参加者に月二回程度メールやチラシなどで**イベント情報、次回使える割引券や友人割引券など送付**
- ▶参加者が社会に**SNSなどで発信し、VTの取り組みが広まる機会が増える**



**地域に魅力を感じた人がVTに参加  
継続性の付与**



# 美山でのVT場合



ネットワーク  
活性化

協働者

協働者



美山町  
旅行会社

労力・知識提供

観光客

参加機会・宿舎提供



## 8. 終わりに

VT実施

つながりの機会の創出

結束型、橋渡し型SCの醸成  
新たなネットワークの構築



住民ネットワークの活発化



## 9. 参考文献

- ▶ 浅野英一 2013「ソーシャル・キャピタルの観点から見た学生ボランティア活動による過疎地域の活性化～和歌山県すさみ町におけるケーススタディ～」『摂南経済研究』第3巻第1・2号
- ▶ 稲葉陽二 2016「都市祭礼とソーシャル・キャピタル」山田浩之編『都市祭礼文化の継承と変容を考えるーソーシャル・キャピタルと文化資本』ミネルヴァ書房
- ▶ 小畑紘一 2013『祭礼行事「柱松」の民俗学的研究』岩田書院
- ▶ 加藤誠 2016「復興に向かう東北の新たなツーリズムのかたちを考える：観光による東日本地域の復旧→復興→振興」西山徳明他編『自然災害復興における観光創造』北海道大学観光学高等研究センター
- ▶ パットナム、ロバート（河田潤一訳） 2001『哲学する民主主義ー伝統と改革の市民的構造』NTT出版
- ▶ 樋口博美 2014「伝統的都市の祭礼にみる共同性の維持と創造ー山鉾祭礼の“祭縁”を事例として」『社会関係資本研究論集』第5号、専修大学社会知性開発研究センター/社会関係資本研究センター
- ▶ 美山町 2005『美山町誌 下巻』 美山町役場

## 9. 参考文献

- ▶ 依田真美 2011 「ボランティア・ツーリズム研究の動向および今後の課題」 『国際広報メディア・観光学ジャーナル』 12号、北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院
- ▶ 依田真美 2013 「短期ボランティアツーリズムの地域課題への積極的参加手段としての可能性：東日本大震災支援ツアーを事例として」 『季刊 家計経済研究』 第99号、家計経済研究所
- ▶ 内閣府 「令和元年版高齢者白書」  
[https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2019/zenbun/01pdf\\_index.html](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2019/zenbun/01pdf_index.html) 閲覧日 2019年12月9日
- ▶ 南丹市 2019 公式ホームページ <http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/> 閲覧日 2019年9月24日
- ▶ 南丹市美山エコツーリズム推進協議会 2018 京都美山ナビ <https://kyotomiyama.jp/> 閲覧日 2019年10月2日

ご清聴ありがとうございました！

